

自己放電式 静電気除去ブラシ

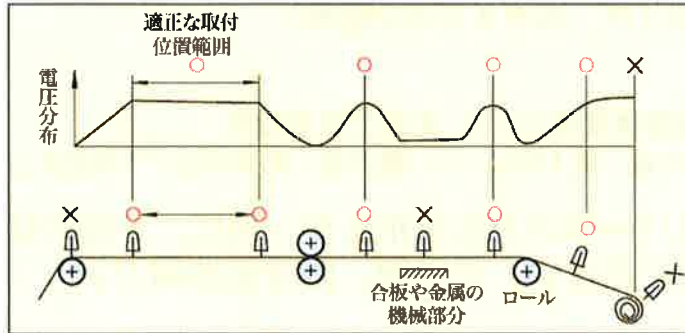
# アキレス ノンスパーク

## ここがポイント!! 効果的な取付け位置

効率的に静電気除去をする為には、効果的な取付け位置があります。

### ①効果的な取付け位置

取付け位置の反対側にロールや合板、金属の機械部分等がある位置は、除電効果が期待できません。最も効果を発揮する取付け位置は、下図の「○」の位置への取付けが有効となります。

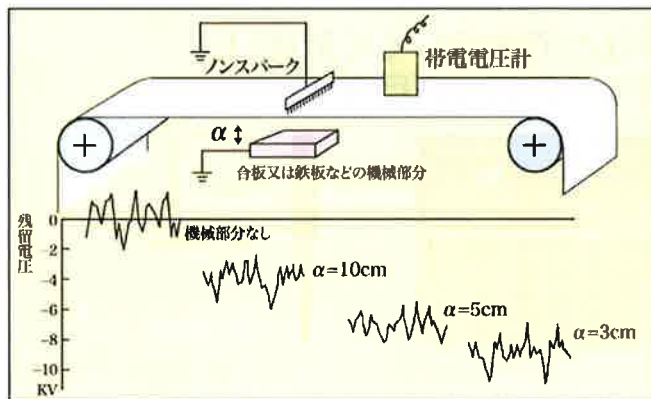


第1図: 取付け位置

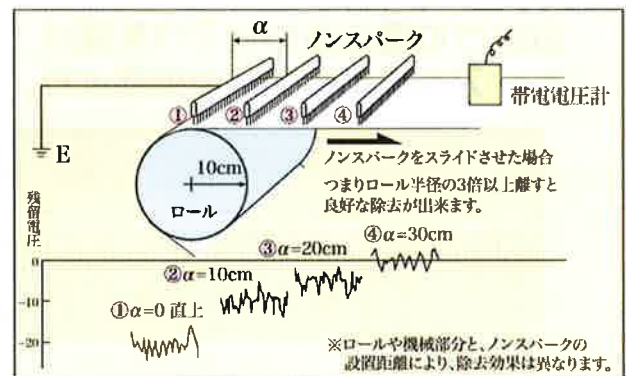
- △ ノンスパーク
- 適正取付け位置
- × 不適正取付け位置

### ②ロールなどによる除去効果の影響

下図の合板などに近い位置(紙やフィルム等と合板の距離 =  $\alpha$ ) に取付けると、残留電圧が高くなります。除電効果が低い場合、合板からの位置を外し設置してください。



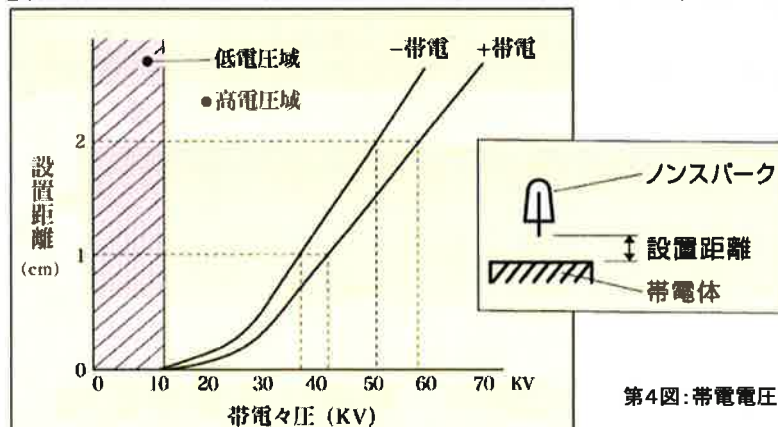
第2図: 接地体の近傍による静電気除去効果



第3図: ロールの影響による静電気除去効果

### ③帯電電位別の設置距離(目安)

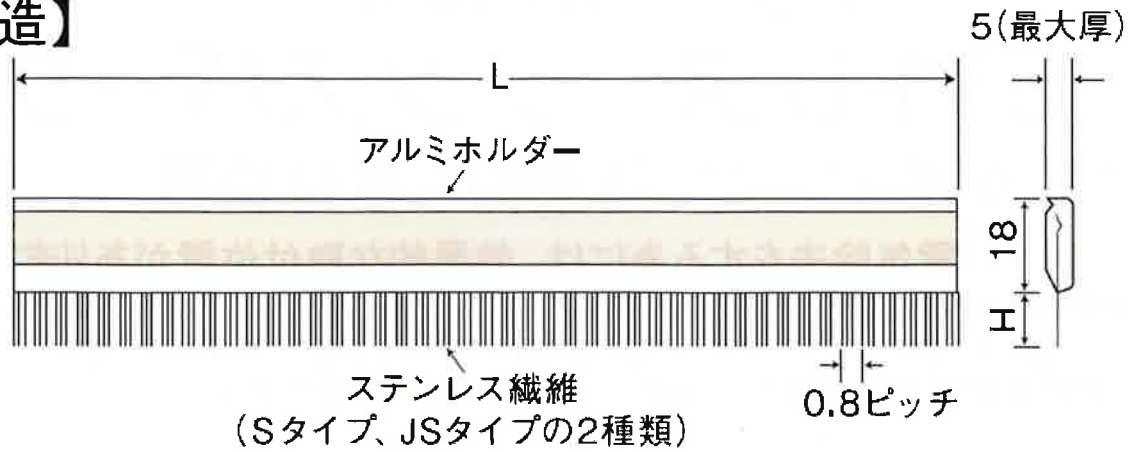
静電気除去効果は帯電物体と除電ブラシ先端との距離によって変化します。帯電圧を確認してから取付け下さい。



第4図: 帯電電圧と設置距離

## 【ノンスパーク 取付け方(例)】

### 【構造】

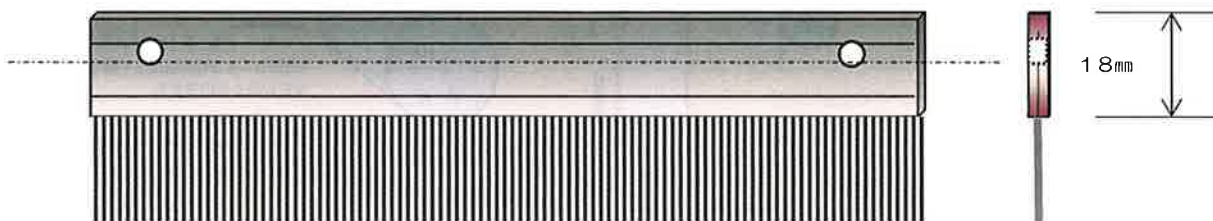


※ アルミホルダー支持体構造により、丈夫で軽量設計  
製品重量は、最小品 約150g ~ 最大品 約500g/1本あたり

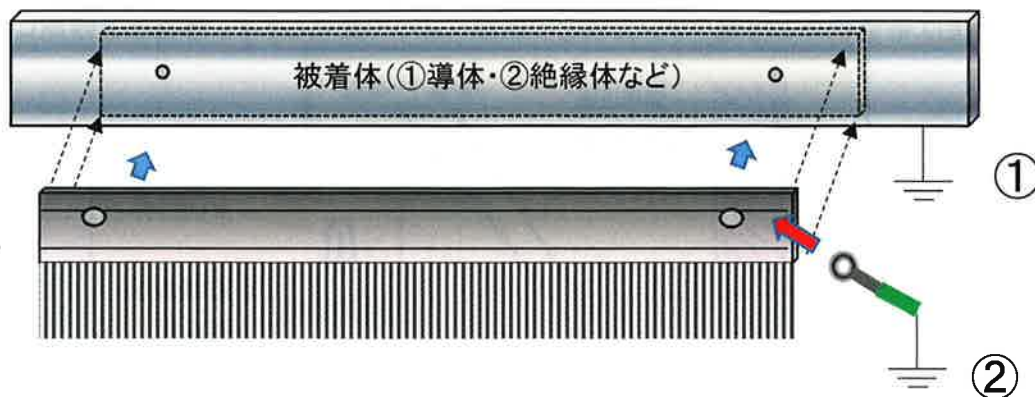
取り付けは、ノンスパークのアルミホルダー部に、下図の様に穴を開け、ビス等で取り付けてください。その際、必ず接地用のアースも取り付け、ご使用ください。

### ◆ 取り付け方(穴あけ)

取り付け位置に合わせて穴を開け、ネジなどで固定してください。  
アルミホルダー中央部より、上側への穴あけが目安



### ◆ 取り付けと接地(例)



- ①被着体が導体の場合 被着体を直接接地
- ②被着体が絶縁の場合 製品本体より直接接地